

# 雅楽だより

## 《目次》

- |                                 |        |                              |
|---------------------------------|--------|------------------------------|
| ●コラボレーション舞楽<br>「納曾利 破・急」の実現を通して | 山本華子 1 | ●コロンビア大学 MP プログラム<br>芝 祐靖 5  |
| ●『體源鈔』とその時代(4)                  | 遠藤 徹 2 | ●新刊紹介『雅楽逍遙』<br>芝 祐靖 6        |
| ●雅樂いろいろ Q & A③                  | 芝 祐靖 3 | ●SAVE THE 鶴殿ヨシ原 実行委員会結成<br>6 |
| ●口ウソクを吹き消し、ハワイの残業               | 上野慶夫 5 | ●情報欄<br>6                    |

第31号  
発行

2012(平成24)年10月  
雅楽協議会

## コラボレーション舞楽「納曾利 破・急」の実現を通して

洗足学園音楽大学講師 山本華子



「納曾利 破・急」の演奏。舞は福西賢氏と中村かほる氏。楽は左より、姜智恩氏（奚琴）、鄭聖勲氏（大竽）、李宗哲氏（觱篥）、林昭珍氏（觱篥）、李進熙氏（杖鼓）、崔載根氏（鉦）。  
(写真提供：公益財団法人 新日鉄文化財団)。

今年は、江戸時代の民衆が熱狂したという「朝鮮通信使」の音楽がテーマであった。韓国国立釜山国楽院が通信使の行進の音楽を、伶楽舎が日本側の使節をもてなすため演奏した雅楽を披露した。公演演奏者は、韓国儀礼樂「大吹打」「吹打」「剣舞」、舞樂「陵王」、コラボレーション舞樂「納曾利 破・急」の実現を通して

去る7月18、19

日の両日、紀尾井ホールにて、新日本文化財団主催公演「紀尾井江戸邦樂の風景」の第六回が開催された。

「通信使の音樂会を開くに当たり、歴史的復元を紹介するだけでなく、両国の今後の関係に有益なことをしたい」というのが、私と町田常務理事の共通した考え方であった。コラボレーションの具体作品は、公演の焦点を1711年の通信使に合わせることで、次第にはつきりしてきた。江戸城で、通信使をしてなすための雅楽公演で最後に演奏された番の曲が、唐樂「陵王」と高麗樂「納曾利」であった。日本が朝鮮半島から受け入れた高麗樂が朝鮮王朝には残っていないことに、通信使の正使ほかが感銘を受けた記録があつたため、「納曾利」を選ぶことにした。日本の雅樂は、雅樂器での演奏のほかに、近衛直麿氏などの五線譜により西洋楽器でも演奏されている。私は、これを不思議と思わない日本人に、隣の国の楽器でも演奏可能であることを示したいと思った。日韓の雅樂の合奏を通して、今後も、隣国のレパートリーを演奏する

「納曾利 破・急」であった。このうち、当公演の目玉ともいえる新たな試みは、韓国側が樂を、日本側が舞を担当したコラボレーション舞樂「納曾利 破・急」であった。筆者は通訳として日韓の合同練習より立ち合ってきた関わりから、この演目の企画から実現に至るまでの過程について、見聞きし感じたことをリポートしたいと思う。

コラボレーションの発案者は、新日本文化財団邦樂専門委員の徳丸吉彦氏と町田龍一常務理事であったという。徳丸氏は、企画について以下のように語った。

「通信使の音樂会を開くに当たり、歴史的復元を紹介するだけでなく、両国の今後の関係に有益なことをしたい」というのが、私と町田常務理事の共通した考え方であった。コラボレーションの具体作品は、公演の焦点を1711年の通信使に合わせることで、次第にはつきりしてきた。江戸城で、通信使をしてなすための雅楽公演で最後に演奏された番の曲が、唐樂「陵王」と高麗樂「納曾利」であった。日本が朝鮮半島から受け入れた高麗樂が朝鮮王朝には残っていないことに、通信使の正使ほかが感銘を受けた記録があつたため、「納曾利」を選ぶことにした。日本の雅樂は、雅樂器での演奏のほかに、近衛直麿氏などの五線譜により西洋楽器でも演奏されており。私は、これを不思議と思わない日本人に、隣の国の楽器でも演奏可能であることを示したいと思った。日韓の雅樂の合奏を通して、今後も、隣国のレパートリーを演奏するようになればよいと思っている。」

こうして発案された演目が実際の演奏まで形作られたのは、ほかでもない日韓の出演者の挑戦と努力があつたからである。釜山まで足を運び初回の練習から参加した舞の中村かほる氏（伶樂舎）は、以下のように述べている。

「高麗樂の源流である長い歴史を持つ韓国へ、期待と同時に戸惑いを抱えたまま訪韓した。釜山の合同練習で、まず「納曾利」の演奏を聞かせていただくと、事前に送られていた五線譜と音源に忠実な演奏で、日本の雅樂に近いものであつた。しかし、樂器の特徴や音楽の勢いが感じられず、もつといつものよう自由に演奏してほしいとお願いしてみると、見事に韓国らしい音樂に変化していく。一方、舞の方は、雅樂の古典通りに舞うことになりました。こうして、双方の特徴を活かして生まれてくるエネルギー」を今回の大切なテーマとしたと聞いた。初めての試みでいろいろと大変だったが、たくさんのこと学ぶ貴重な機会に恵まれたことを幸せに感じる。」

一方、韓國側の樂師はどのように感じたのだろうか。「納曾利」の奏楽には計6名が参加したが、そのうち原曲の筆築、高麗笛、三ノ鼓と太鼓のパートを担当した筆築、大箏、杖鼓の奏者3名に所感を伺つた。筆築の旋律を担当した筆築の林昭珍氏は、次のように述べた。

「『納曾利』の樂譜を初めて見た時、拍子や旋律の流れが韓国音樂とあまりにも異なつており、韓國の樂器で演奏するのはしつくりい

かなかつた。何よりも体に染みついていない日本の音樂に韓國的な要素を加えること自体、無理があつた。ところが、日本に到着して、何度も二人の舞手と合わせていくうちに、徐々に慣れていく。お二人の励ましもあり、本番では舞に自然と呼吸を合わせることができた。気づくと、公演が終わつた現在でも「納曾利」の旋律が頭をよぎる。新鮮で、貴重な経験となつた。」

笛の旋律を担当した大箏の鄭聖勲氏の所感も同様のものであった。

「最初に音源と樂譜を受け取つた時、こんなにも日韓の音樂が違うことに驚いた。韓國音樂を専門とする自分にとって、「納曾利」の拍子や節はなかなか馴染めないものであつた。日本側の要求はともかく「韓國音樂らしく」ということであつたため、そのことを念頭に置いて、韓國の民俗音樂を演奏するように、大箏の特徴を出そうとした。」

そして、リズムパートを支えた杖鼓の李進熙氏は次のように語る。

「韓國から伝わつた音樂が日本化し、かなりの変化をとげたことを知つた。音高が明らかに異なる太鼓二つ（三ノ鼓、太鼓）のリズムが交差して進行していく様子を、杖鼓の左面と右面で叩き分け、民俗音樂の雰囲気に合う変形リズムを駆使した。とても異色な経験ではあつたが、日本の音樂を韓國の樂器で演奏してもそれほど違和感を覚えなかつたのは、東アジアの音樂としての共通点があるからではないかと思った。」

3名の所感を見ると、まずは日韓の音樂の



韓国国立釜山国楽院での合同練習風景。  
舞は中村かほる氏。

かななかつた。何よりも体に染みついていない日本の音樂に韓國的な要素を加えること自体、無理があつた。ところが、日本に到着して、何度も二人の舞手と合わせていくうちに、徐々に慣れていく。お二人の励ましもあり、本番では舞に自然と呼吸を合わせることができた。気づくと、公演が終わつた現在でも「納曾利」の旋律が頭をよぎる。新鮮で、貴重な経験となつた。」

笛の旋律を担当した大箏の鄭聖勲氏の所感も同様のものであった。

「最初に音源と樂譜を受け取つた時、こんなにも日韓の音樂が違うことに驚いた。韓國音樂を専門とする自分にとって、「納曾利」の拍子や節はなかなか馴染めないものであつた。日本側の要求はともかく「韓國音樂らしく」ということであつたため、そのことを念頭に置いて、韓國の民俗音樂を演奏するように、大箏の特徴を出そうとした。」

### 古樂譜・古樂書でたどる 『體源鈔』とその時代（4） 意識される「雅樂」と「鄭声」

東京芸術大学准教授 遠藤徹

### 雅樂の歴史（13）

違ひを大きく感じ、その後、各自のやり方で違いを乗り越えて、一つの作品を作り出そうとしている姿勢が窺われる。そして、他文化に馴染むことが出来れば、共通点を感じられるようになる可能性を感じた。異文化同士のコラボレーションとは、この二点、違いと共通点を発見、認識する行為ではないだろうか。朝鮮半島由来であるが、今では日本の雅樂となつた「納曾利」。韓國音樂らしさを求める韓國樂器による「納曾利」の演奏を聴いて、高麗樂が悠久の時間をかけて日本の雅樂に変容した事實を強く認識した。聴衆の感想の中には、「納曾利を韓國の樂器の演奏で聞くのがとても新鮮で珍しかった」「納曾利の完成度はとても高く、とても良かつた」というものが見られた。

こうした実験的な舞台は、聴衆にとっても、また出演者にとっても刺激的で新しい発見をもたらしてくれる。今後も自己と他者を知るために、必要な作業となるだろう。

日本の「雅樂」は大宝令で設置された「雅樂寮」に由来しますが、「雅樂」という語自体は古代中国に起源し、「論語」の「鄭聲の雅樂を乱るを悪む」に初めて見られます。

「鄭聲」とは鄭の国に流行している（淫らな）音楽で、それが「雅樂」（周王朝から伝わる正統的な音楽を指すと思われる）を乱しているのが憎いと孔子は述べました。ここに孔子の生きた時代に「雅樂」という観念が形成されていたのを見ることができます。

大宝令で「うたまい」を管掌する機関を「雅樂寮」と表記したのは、國家の正式な儀式の音楽（雅曲、正舞）を掌るという意味合いをこめたものだつたと考えられます。しかし孔子の時代のように一方で鄭聲が蔓延るという状況は当時の日本では考えにくいので、「鄭聲」に対する「雅樂」という意味合いは「雅樂寮」にはほとんどなかつたのではないでしょう。

しかし時代が下つて、豊原統秋の時代になると状況は大きく異なつてきました。応仁の乱を境にした奈良・平安時代以来の宮廷儀礼の著しい衰退、巷間における猿樂の隆盛という状況を目の当たりにして、「論語」の「鄭聲の雅樂を乱るを悪む」という言葉は豊原統



のお陰で、素敵なお仕事のメンバーと共に素晴らしい演奏が出来ましたことを深く感謝しております。

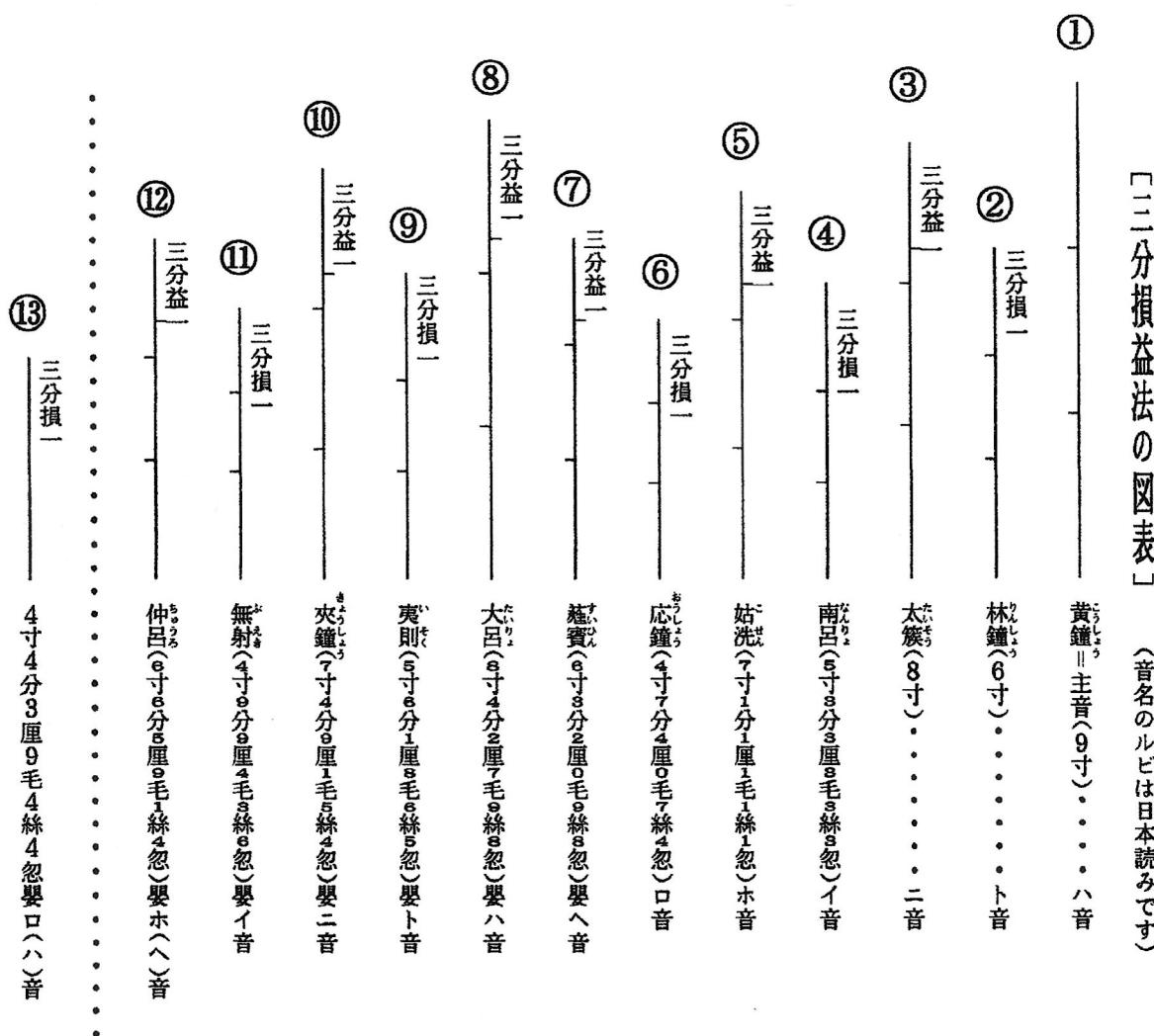
7月13日 芝祐靖

## ※三分損益法

ט'ז

9寸の長さの管から発する音を「黄鐘」(ハ音)と定め、9寸管の三分の一を切りとる(三分の一損)と6寸となり、黄鐘から5度上の「林鐘」(ト音)の音が出ます。次に6寸の三分の一の長さの管(2寸)を6寸に足す(三分の一益)と8寸の管になり林鐘から4度下の「太簇」(二音)の音が出ます。次に8寸管から三分の一を切りとる(三分の一損)と5寸3分3厘3毛3絲3忽・・・の管になり「南呂」(イ音)の音が出ます。《あとは図表でご覧ください》

この作業を11回繰り返して12音を制定するところを「三分损益法」と言います。



★13音目 豊口 || ハは  
黄鐘（ハ）のオクタ  
レブ上で楽律では同  
音としていますが、曆  
律（計算上の音律）は  
4寸4分3厘9毫4絲  
4忽の2倍、8寸8分  
7厘8毫8絲8忽とな  
り、黄鐘よりほんの少  
し短く、高めになります。

## 口一ソクを吹き消し、ハワイの残樂

「へえ、陵王と陪臤の舞をやるんだって？」  
しかし、アラモアナ・センターの舞台は狭い  
し大丈夫かな。ちょっと見てきてあげよう。  
電話を切りますよ」。ハワイ大学雅楽部  
社本正登司先生はびっくりするほど親切で、  
気さくな方だった。

我々、洋遊会は本年6月9日にハワイの音  
楽祭、「まつりインハワイ」に出演した。  
年以上も続いているお祭りと聞き、事前の稽  
古をいつも厳しくしたもの、現地の  
舞台（ホノルル、アラモアナ・センター）が  
どんな所か気になった。そこで、以前「雅楽  
だより」に紹介された社本先生のことを思い  
出したのだ。面識はないし、叙述までされて  
いる偉い方だが、思い切って電話してみた。  
その結果が冒頭のありがたいご返事だった。  
その上、太鼓などハワイ雅楽研究会の楽器ま  
で貸していただけることになった。

もっとも、先生からの新情報「築地本願  
寺の雅楽会も出演だよ。やっぱり陵王だそう  
だ。競演だね。楽しいことになつたな」。こ  
の言葉のプレッシャーで更に厳しい稽古を続  
けることとなつた。

さて、いざ行ってみると、青空に映える真  
っ白なブルメリア、さすがにハワイは良いと  
ころだ。陽気な観衆の前で、築地本願寺の  
方も我々も、お互いの演奏を楽しむとい  
う和やかなお祭りになつた。演奏が終わるとい  
きなり舞台下のお客さんが手を上げて質問す

## 洋遊会 上野慶夫

る。舞人の指、剣印が珍しかつたらしいが、  
こんなことは国内でも他の外国でも経験がな  
かつた。

「せつかくだから、皆様とハワイのメンバ  
ーで合奏しましよう」。社本先生の発案で、  
本願寺の方々と洋遊会が帰国前日、ハワイ雅  
楽研究会の演奏会兼パーティーに招かれた。  
まずハワイ雅楽研究会の「落踏」を拝見した  
が、これは実に堂々としていた。舞は女性で  
姿勢が正しい。樂も雅樂への愛情がよく感じ  
られる演奏だ。

それからが本番。ハワイ、日本混成メンバ  
ーで越天樂の残樂をするのだけど、演奏者の  
真ん前に一つずつ、ローソクの入ったお洒落  
なガラスケースが運ばれた。自分の演奏が終  
わるとそのローソクを消すのである。知つて  
のとおり、残樂は曲が進むに連れて演奏者が  
少なくなるから、ローソクの火も順に無くなる  
つていき、最後は真っ暗になるという趣向。  
昔の怪談にもそんなのがあつたなと思いつつ  
始めるが、確かにだんだん暗くなつていくの  
は幻想的だ。私は筆箋の音頭だから、おしま  
い近くまでずっと演奏だ。最後の一節を吹き  
終わり、その勢いで目の前のローソクを思い  
つきり吹き消した。その途端、会場は何やら  
どつと笑い声。

明かりがついてから、先生いわく、「駄目  
ですよ、上野さん。皆さんはムードを壊さず  
ガラスケースにそつとふたをして消していくた  
めです。あなただけ景気よく吹き消したもん  
だから、その顔が面白くて喜劇になっちゃつ  
た。もっと日本の余情を出さないといけませ

ん」。

そのとおり。

日本の余情は難

しいということ

をハワイであら

ためて教わつ

た。

ハワイ雅楽研

究会は本年、日

本演奏旅行を計

画中だそうだ。

是非拝見しよう



前列右から  
ハワイ雅楽研究会と  
4人目 上野慶夫氏、  
5人目 社本正登司氏

一緒に。

前列右から  
ハワイ雅楽研究会と  
4人目 上野慶夫氏、  
5人目 社本正登司氏

一緒に。

日本の余情は難

しいということ

をハワイであら

ためて教わつ

た。

ハワイ雅楽研

究会は本年、日

本演奏旅行を計

画中だそうだ。

是非拝見しよう

と思う。

ハワイ雅楽研



鈴木氏が奏でる笙の音色に耳を傾ける研  
修生たち。左から、エリザベス・ティン  
ズリー（笙専攻）、ヤン・ユー（笙専攻）、  
マシュー・サミミ（龍笛専攻）。

特に雅楽研修生のマシューは、「鈴木氏の  
細やかな作業を拝見し、今まで、日本にこ  
のような技能が伝承されていることに驚い

の笛本武志氏が担当した。グループレッスン  
は、ささの葉会、小野雅楽会、国立音楽大学  
の雅楽クラスに参加させていただいた。雅楽  
の生演奏に触れるために、研修期間中の5月  
31日に行われた伶樂舍雅楽コンサートにも足  
を運んだ。

なかでも、日本でしか味わえない貴重な体  
験となつたのは、『雅楽だより』の発行人、  
鈴木治夫氏のご協力により、氏の工房を訪ね  
笙の製作過程を見学させていただいたことで  
ある。笙の17本の竹管を分解しながら楽器の  
構造や音の出る原理などを説明した上で、笙  
製作の全工程を見せて下さった。また、アジ  
アの笙と同族の楽器の実物を取り出し、笙の  
歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に触れられた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に触れられた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に触れられた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に觸れた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に觸れた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に觸れた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に觸れた興味深い体験であつたようだ。

鈴木治夫氏の工房で、笙の製作過程を見  
て学ぶ機会を得た。笙の構造や音の出る原理  
などを説明してもらったり、笙の製作工程を  
見て学んだり、実際に笙を触って音色を聴いて  
みたりなど、様々な体験ができた。

また、アジアの笙と同族の楽器の実物を取  
り出し、笙の歴史についてもご教示いただいた。

邦楽プログラムも含めて3名の研修生が参  
加したが、彼らにとつては日本文化の奥深さ  
に觸れた興味深い体験であつたようだ。

た。笙に対する見方が深まつたように思う」と感想を述べた。

樂器にまつわる文化を学ぶことは、実技を身につける上でも大切な要素であることを実感した。次年度も、出来るだけこのような体験を加えていく所存である。最後にこの場をお借りして、2012年度のプログラムにご尽力下さった方々にお礼を述べたい。

## 新刊紹介『雅楽逍遙』

### 伝統至上に生きた東儀俊美先輩

芝 祐靖

東儀俊美さんの雅楽隨筆集第三巻に当たる『雅楽逍遙』が書肆フローラから上梓されました。誠におめでとうございます。

雅楽の本というと、専門用語が多く、取付きにくいものと思われがちですが、俊美さんのご本は、後輩たちに語りかけるような文言を用いて書き綴っていますので、堅苦しさではなく、大変読み易いように思いました。

『雅楽逍遙』は「第一章・文明と雅楽」「第二章・雅楽と風景」「第三章・秦氏の舞」「第四章・雅楽問答」の4つに分けられています。まず、平安時代の古文書の中の雅楽工ビソードと、鎌倉時代以降の三大楽書の楽事紹介、次に明治3年以降の明治新政府による雅楽管掌と、「樂事録」(宮内庁楽部の日誌)による楽部の活動、そして、楽部在籍中また退官後の自らの体験と太秦姓東儀本流末裔の責任感、最後に、弟子から受けた質問を中心にならん、やつちゃん」と可愛がつてくれました。先輩はバイオリンが得意で、30年以上も楽部を経て、洋楽についても博識で、たびたび和声や楽曲を教えてもらいました。

私が一番感動したのは、太平洋戦争末期の東京大空襲の折、皇居・明治宮殿が炎上し、

御物避難に携わった体験、そして、国立劇場依頼の舞楽『採桑老』復興作業がかなり困難であったことなど、双方とも命懸けの仕事だつたことが明確な文体で書かれ、迫力を感じました。

平安時代の日誌、『小右記』や『中右記』、そして、鎌倉時代の『教訓抄』、江戸時代の『樂家錄』を精読されて、雅楽エピソードなどを翻訳されたことは、さて、ご苦労があつたことと思いました。ただ、この頃で、無学な私は古語辞典や漢和辞典のお世話になりました。

また、「雅楽問答」では、質問者に若い女性愛好者を設定して、実に親切丁寧に説明をされています。もし、『雅楽逍遙』を読んで難解なところに突き当たったら、頭休めに「雅楽問答」に目を移してみることをお勧め致します。

俊美先輩に文句をつけるとすれば、各章に示された楽曲や樂譜を耳にできるCD(DVD)を添付していただきたかったと思います。……平成23(2011)年にご逝去された俊美さんは、仙境で「何を言うか!」と苦笑されておられることでしょう。

さて、プライベートな話に移りましょう。俊美先輩は6歳上で、私が楽部の予科生に入った昭和23(1948)年には卒業間近の最上級楽生でした。常に温和で「やつちゃん」と可愛がつてくれました。先輩はバイオリンが得意で、30年以上も楽部を経て、洋楽についても博識で、たびたび和声や楽曲を教えてもらいました。

雅楽へのご自身の思いが各章に亘って記されているようを感じました。

退官になられました。その後すぐに『雅楽神韻』(雅樂縹渺)(いずれも国文庫刊)の随筆集を上梓され、周囲を驚かせました。

新刊『雅楽逍遙』には、60年間の音楽三昧、特に太秦の楽人としての責任とプライドを持ち続け、伝統至上に生きた俊美先輩の雅楽意識が述べるように記されています。

卷尾に俊美先輩の奥様、道子さんが記された「麗しく瑞々しい雅楽 再び」は、これまで私は古語辞典や漢和辞典のお世話になりました。

また、雅楽への愛着がひひしと感じられます。俊美先輩が雅楽人生を全うできた功績の半分は、奥様の後押しによるものとつくづく思います。

「SAVE THE 鵜殿ヨシ原」

### 雅楽を未来につなぐ 実行委員会(代表・中川英男)が 結成される

前号に掲載できなかつた  
演奏会など

○文月会 第16回 溫習会(東京)

7月28日(土)午後2時30分

赤坂区民センター  
管絃 太食調音取 還城樂 倾盆樂急

講師演奏 長慶子

舞楽 承和樂 長保樂破・急

○四天王寺の聖靈会について

9月5日(水)午後2時

國立劇場伝統芸能情報館

南谷美保(四天王寺大学教授)

○四天王寺の聖靈会舞樂四箇法要

9月15日(土)午後2時 国立劇場大劇場

舞樂 舞鉦三節 太平樂 蘇莫者ほか

声明 惣札伽陀 四箇法要 噎置 散華

梵音 錫杖 演奏 天王寺樂所雅亮会ほか

エブサイト(<http://www.save-udono.com/>)を立ち上げ、署名活動などを開始している。(今号に署名用紙を同封)

代表の中川氏は「雅楽は、現在も宮中はもちろんのこと、神社・仏閣等の祭祀で用いられ、芸術性の高い芸能として劇場でも公演されています。ことに宮内庁式部職樂部の演奏する雅楽は、ユネスコ無形文化遺産保護条約記載されており、日本は保護のために必要な措置をとることが課せられている。雅楽を次世代へつなげるために、鵜殿のヨシ原の保全が是非とも必要とされる」と語る。今後のさまざまな取り組みが待たれる。

代  
ち  
れ  
る  
雅  
樂  
は  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演  
奏  
す  
る  
雅  
樂  
は  
、  
ユ  
ネ  
ス  
コ  
無  
形  
文  
化  
遺  
產  
の  
代  
表  
的  
な  
一  
覽  
表  
に  
記  
載  
さ  
れ  
て  
お  
り  
、  
日  
本  
は  
保  
護  
の  
た  
め  
に  
必  
要  
な  
措  
置  
を  
と  
る  
こ  
と  
が  
課  
せ  
ら  
れ  
て  
い  
る  
。  
こ  
と  
に  
宮  
内  
庁  
式  
部  
職  
樂  
部  
の  
演

管絃 平調 林歌 陪膳	菅絃 平調 林歌 陪膳
舞楽 振鉢二節 賀殿 古鳥蘇	舞楽 振鉢二節 賀殿 古鳥蘇
演奏 雅楽道友会	演奏 雅楽道友会
○第6回斑鳩雅楽フェスティバル	○第6回斑鳩雅楽フェスティバル
9月23日 いかるがホール	9月23日 いかるがホール
○「古事記音絵巻」	○「古事記音絵巻」
9月30日(日)午後6時 やまと郡山城ホール	9月30日(日)午後6時 やまと郡山城ホール
○三渓園観月会(神奈川)	○三渓園観月会(神奈川)
9月30日(日)午後8時15分 三渓園臨春閣	9月30日(日)午後8時15分 三渓園臨春閣
御神楽 其駒 舞楽 林歌 抜頭 ほか	御神楽 其駒 舞楽 林歌 抜頭 ほか
演奏 横浜雅楽会	演奏 横浜雅楽会
問合せ Tel 0570-107-9900	問合せ Tel 0570-107-9900
秋う冬までの主な雅楽演奏会など	秋う冬までの主な雅楽演奏会など
伝統音楽の美—日中伝統の音を聞く(東京)	伝統音楽の美—日中伝統の音を聞く(東京)
10月1日(月)午後7時 一般4000円 国立劇場大劇場	10月1日(月)午後7時 一般4000円 国立劇場大劇場
日本 管絃 平調音取 老君子 陪膳	日本 管絃 平調音取 老君子 陪膳
舞楽 萬歳樂 抜頭 演奏 宮内庁樂部	舞楽 萬歳樂 抜頭 演奏 宮内庁樂部
中国 福建南音 梨園戯	中国 福建南音 梨園戯
問合せ Tel 0570-107-9900	問合せ Tel 0570-107-9900
サントリーホールフェスティバル オープニング・ガラ「響」(東京)	サントリーホールフェスティバル オープニング・ガラ「響」(東京)
10月6日(土)午後6時 サントリーホール 大ホール S席22000円 A席20000円 B席17000円 ほか	10月6日(土)午後6時 サントリーホール 大ホール S席22000円 A席20000円 B席17000円 ほか
芝祐靖 「敦煌琵琶譜からの音樂」より 演奏 伶楽舎 黄豆豆 ほか 問合せ Tel 0570-105-0017	芝祐靖 「敦煌琵琶譜からの音樂」より 演奏 伶楽舎 黄豆豆 ほか 問合せ Tel 0570-105-0017
今宮神社 秋の大祭(京都)	今宮神社 秋の大祭(京都)
10月8日(月)午後7時 宵宮祭 御神楽 演奏 天王寺樂所雅亮会 問合せ Tel 06-6641-0084	10月8日(月)午後7時 宵宮祭 御神楽 演奏 天王寺樂所雅亮会 問合せ Tel 06-6641-0084
演奏 平安雅楽会	演奏 平安雅楽会
問合せ Tel 0138-41-5467	問合せ Tel 0138-41-5467
問合せ Tel 0797-23-1886	問合せ Tel 0797-23-1886
問合せ Tel 0795-44-2020	問合せ Tel 0795-44-2020
函館樂所第5回演奏会(北海道)	函館樂所第5回演奏会(北海道)
10月22日(月)午後7時 無料 下鴨神社 大國祭(京都)	10月22日(月)午後7時 無料 下鴨神社 大國祭(京都)
舞楽 沙沙貴神社近江源氏祭(滋賀)	舞楽 沙沙貴神社近江源氏祭(滋賀)
10月9日(火)午後2時 演奏 平安雅楽会	10月9日(火)午後2時 演奏 平安雅楽会
曲目未定 出演 女人舞楽原笙会	曲目未定 出演 女人舞楽原笙会
問合せ Tel 0829-44-2020	問合せ Tel 0829-44-2020
天理大学雅楽部第44回天理公演(奈良)	天理大学雅楽部第44回天理公演(奈良)
10月14日(日)午前10時30分 三翁神社(嚴島神社の近く)祭典(広島)	10月14日(日)午前10時30分 三翁神社(嚴島神社の近く)祭典(広島)
舞楽 蘭陵王 境破 演奏 平安雅楽会	舞楽 蘭陵王 境破 演奏 平安雅楽会
10月15日(月)夕方より、菊花祭祭典に引き続ぎ舞楽 振鉢三節 萬歳樂 延喜樂	10月15日(月)夕方より、菊花祭祭典に引き続ぎ舞楽 振鉢三節 萬歳樂 延喜樂
蘇利古 散手 貴徳 蘭陵王 納曾利	蘇利古 散手 貴徳 蘭陵王 納曾利
長慶子	長慶子
問合せ Tel 0829-44-2020	問合せ Tel 0829-44-2020
日光東照宮 東遊(栃木)	日光東照宮 東遊(栃木)
10月17日(水)正午より 例大祭御旅所祭にて東遊	10月17日(水)正午より 例大祭御旅所祭にて東遊
問合せ Tel 0288-54-0560	問合せ Tel 0288-54-0560
宮内庁樂部 秋季雅楽演奏会(東京)	宮内庁樂部 秋季雅楽演奏会(東京)
10月19日(金)、20日(土)、21日(日) 各日、午前10時30分、午後2時30分	10月19日(金)、20日(土)、21日(日) 各日、午前10時30分、午後2時30分
管絃 太食調音取 合歛塙 朗詠 嘉辰	管絃 太食調音取 合歛塙 朗詠 嘉辰
舞楽 還城樂 舞楽 打球樂 古鳥蘇	舞楽 還城樂 舞楽 打球樂 古鳥蘇
申込は締め切っている	申込は締め切っている
問合せ Tel 03-3213-1111	問合せ Tel 03-3213-1111
上川雅樂会15周年記念演奏会(北海道)	上川雅樂会15周年記念演奏会(北海道)
10月25日(木)午後6時半 北斗市かなでる	10月25日(木)午後6時半 北斗市かなでる
振鉢 萬歳樂 延喜樂(予定)	振鉢 萬歳樂 延喜樂(予定)
問合せ Tel 0829-44-2020	問合せ Tel 0829-44-2020
明治神宮 舞樂(東京)	明治神宮 舞樂(東京)
10月23日(火)午前10時より祭典中に 北斗市かなでる	10月23日(火)午前10時より祭典中に 北斗市かなでる
管絃 黄鐘調 傾盆樂 ほか 舞樂 陵王	管絃 黄鐘調 傾盆樂 ほか 舞樂 陵王
舞楽 振鉢 打球樂 古鳥蘇	舞楽 振鉢 打球樂 古鳥蘇
演出 楽友会	演出 楽友会
問合せ Tel 03-3379-5511	問合せ Tel 03-3379-5511
上川雅樂会15周年記念演奏会(北海道)	上川雅樂会15周年記念演奏会(北海道)
10月28日(日)午後3時30分 旭川市大雪クリスタルホール音楽堂	10月28日(日)午後3時30分 旭川市大雪クリスタルホール音楽堂
一般1000円、学生500円	一般1000円、学生500円
天理市民会館 前売1000円 伎楽 崑崙	天理市民会館 前売1000円 伎楽 崑崙
管絃 双調音取 賀殿急 武徳樂 詞物 高砂	管絃 双調音取 賀殿急 武徳樂 詞物 高砂
舞楽 蘇志摩利(右方) 胡飲酒(左方)	舞楽 蘇志摩利(右方) 胡飲酒(左方)
問合せ Tel 0743-63-4945	問合せ Tel 0743-63-4945
なお、鳥取公演 2月16日(土)午後2時、倉吉未来中心。島根公演 2月17日(日)午後2時、大社文化プレイスうらら館。第32回大阪公演 3月3日(日)午後2時、大阪国際交流センター。第38回東京公演 3月9日(土)午後2時、浅草公会堂(全席指定)。	なお、鳥取公演 2月16日(土)午後2時、倉吉未来中心。島根公演 2月17日(日)午後2時、大社文化プレイスうらら館。第32回大阪公演 3月3日(日)午後2時、大阪国際交流センター。第38回東京公演 3月9日(土)午後2時、浅草公会堂(全席指定)。
詳細は次号に掲載。	詳細は次号に掲載。
第16回神奈川雅楽部演奏会(神奈川)	第16回神奈川雅楽部演奏会(神奈川)
10月26日(金)午後7時 1500円 チケットプレゼント有り	10月26日(金)午後7時 1500円 チケットプレゼント有り
春日大社 文化の日舞楽演奏会(奈良)	春日大社 文化の日舞楽演奏会(奈良)
11月3日(土)午前10時30分 蘭陵王 午後1時30分 演奏 平安雅楽会	11月3日(土)午前10時30分 蘭陵王 午後1時30分 演奏 平安雅楽会
管絃 越天樂ほか 舞楽 青海波 還城樂	管絃 越天樂ほか 舞楽 青海波 還城樂
演奏 平安雅楽会	演奏 平安雅楽会
問合せ Tel 075-812-7222	問合せ Tel 075-812-7222
アーカヒルズ音楽週間(東京)	アーカヒルズ音楽週間(東京)
11月3日(土)午後1時半 チケットプレゼント有り	11月3日(土)午後1時半 チケットプレゼント有り

なら100年会館 大ホール	前売 3000円 学生 2000円
舞楽 左舞 賀殿急 管弦 平調 陪臈	伊勢の海 管弦 越天樂 残樂 三返
歌物 左舞 陵王一具 右舞 納曾利	久米舞 権原神宮 (奈良)
舞楽 振鉾 北庭樂 胡德樂 陪臈	問合せ Tel 0743-64-5458
梅田芸術劇場メインホール (大阪) 催馬樂	東洋音楽学会第63回全国大会 公開講演会
管絃 平調音取 越天樂 (残樂三返) 催馬樂	11月10日 (土) 午後1時
舞楽 振鉾 長衣	国立音楽大学講堂大ホール
梅田芸術劇場メインホール (大阪) 催馬樂	入場料 1000円 (資料代) 学員は無料
管絃 平調音取 陪臈 催馬樂 (恋せよ)	第一部 講演「竹内道敬文庫—コレクション」の成立までー」竹内道敬氏 (元国立音楽大
第三部 雅楽演奏 (伶楽舎)	学教授)
（笙奏者、国立音楽大学客員教授）	第二部 講演「雅楽の現在」宮田まゆみ氏
舞楽 還城樂 (右方)	（笙奏者、国立音楽大学客員教授）
管絃 平調音取 陪臈 催馬樂 (恋せよ)	第三部 雅楽演奏 (伶楽舎)
（竹内道敬作詞、芝祐靖作曲）皇寧急	舞楽 還城樂 (右方)
現代曲 笙独奏 宮田まゆみ	舞楽 還城樂 (右方)
野平一郎 「内面の声」	舞楽 還城樂 (右方)
細川俊夫 「光に満ちた息のように」	舞楽 還城樂 (右方)
音輪会 第13回 雅楽演奏会 (京都)	舞楽 還城樂 (右方)
チケットプレゼント有り	舞楽 還城樂 (右方)
11月10日 (土) 午後5時半	舞楽 還城樂 (右方)
京都コンサートホール小ホール	舞楽 還城樂 (右方)
前売 3000円、当日 3500円	舞楽 還城樂 (右方)
問合せ Tel 077-572-2013	舞楽 還城樂 (右方)
天王寺樂所 雅亮会 第46回 雅楽公演会	舞楽 還城樂 (右方)
11月18日 (日) 午後6時半	舞楽 還城樂 (右方)
一般指定席 4000円、学生 2000円	舞楽 還城樂 (右方)

なら100年会館 大ホール	前売 3000円 学生 2000円
舞楽 左舞 賀殿急 管弦 平調 陪臈	歌物 伊勢の海 管弦 越天樂 残樂 三返
歌物 伊勢の海 管弦 越天樂 残樂 三返	舞楽 左舞 陵王一具 右舞 納曾利
舞楽 左舞 陵王一具 右舞 納曾利	舞楽 左舞 陵王一具 右舞 納曾利
舞楽 振鉾 北庭樂 胡德樂 陪臈	舞楽 振鉾 北庭樂 胡德樂 陪臈
梅田芸術劇場メインホール (大阪) 催馬樂	梅田芸術劇場メインホール (大阪) 催馬樂
管絃 平調音取 越天樂 (残樂三返) 催馬樂	管絃 平調音取 越天樂 (残樂三返) 催馬樂
舞楽 喜春樂 古鳥蘇 長慶子	舞楽 喜春樂 古鳥蘇 長慶子
問合せ Tel 077-572-2013	問合せ Tel 077-572-2013
天王寺樂所 雅亮会 第46回 雅楽公演会	天王寺樂所 雅亮会 第46回 雅楽公演会
11月18日 (日) 午後6時半	11月18日 (日) 午後6時半
一般指定席 4000円、学生 2000円	一般指定席 4000円、学生 2000円

主催 天王寺樂所雅亮会 朝日新聞社  
問い合わせ Tel 06-6641-0084

久米舞 権原神宮 (奈良)  
問い合わせ Tel 0744-22-3271

桑名 六華苑 秋の舞樂会 (三重)  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

兵主大社 庭園ライトアップ (滋賀)  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

六華苑 入苑料 300円  
舞楽 未定 主催 多度雅樂会  
問い合わせ Tel 0594-48-3484

伶楽舍雅楽コンサート no.26 (東京)  
天の音楽 世間の樂 源博雅をめぐつて  
問い合わせ Fax 03-5269-2011

12月27日 (木) 午後7時 四谷区民ホール  
前売・予約 2500円 当日 3000円

長慶子 萬秋樂 皇寧ほか  
問い合わせ Tel 03-5269-2011

増本伎共子作曲「博雅の生まれた日に...」  
問い合わせ Tel 03-5269-2011

二ユイイヤーコンサート (北海道)  
問い合わせ Tel 03-5269-2011

1月6日 (日) 午後2時  
キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

舞楽 披頭 演奏 伶楽舎  
問い合わせ Tel 011-520-1234

キタラホール (札幌)  
皇寧急 越天樂 残樂 三返 嘉辰 陪臈  
芝祐靖作曲「舞風神」

## 新聞など

「産経新聞」8月15日「雅楽の響き 海を越えて」宮内庁楽部のイギリス、オランダでの

芝先生への質問を引き続き受け付けております。メールかFaxでお寄せください。

## 芝祐靖先生へ質問を

ご協力いただける方、寄付をお願い致します。お振込は、購読料の口座へ、通信欄に「寄付」とご記入ください。

## 寄付のお願い

ご協力いただける方、寄付をお願い致します。お振込は、購読料の口座へ、通信欄に「寄付」とご記入ください。

## 「雅楽だより」

ご協力いただける方、寄付をお願い致します。お振込は、購読料の口座へ、通信欄に「寄付」とご記入ください。

## (株) 武藏野楽器

〒114-0003 東京都北区豊島1-5-6  
電話 03-5902-7281  
FAX 03-5902-7282

印刷 秀英堂紙工印刷株式会社  
<http://www.gagaku-kyouikai.com/>